

春から「ノウワク」はじめませんか  
～観光のスキマ時間で農業バイト！～

多彩なおすすめコースから農業を知る、観光を楽しむ、それが、農WORKトリップ(通称:ノウワク)です!北海道では、農業アルバイトのほか、ご当地のグルメ・宿泊などを巡る、市町村別のコースを紹介しています。春になったら、1日アルバイトアプリからお仕事を予約して、自分だけのプランでノウワクしてみませんか!



詳しくは、  
ノウワク   または、こちらのQRコードから ▶▶

お問い合わせ 農政部農業経営課 TEL.011-206-7364



8月7日は「北海道花の日」です!

花は、私たちに潤いと安らぎを与え、心豊かで健康的な暮らしをもたらします。冷涼で昼夜の寒暖差が大きい北海道は、高品質で色鮮やかな花の産地として国内で高い評価を得ています。北海道では、多くの方に「北海道花」を知り、親しんでいただくため、8月7日を「北海道花の日」と定め、花と産地をPRしています。ぜひ、この機会に、皆様の生活にも「北海道の花」をプラスしてみませんか?



詳しくは、  
北海道花の日   または、こちらのQRコードから ▶▶

お問い合わせ 農政部農産振興課 TEL.011-206-9083



第11回「ディスカバー農山漁村の宝」が選定されました!

内閣官房・農林水産省により、全国496地区(うち北海道37地区)の中から、道内の3件がグランプリ、優秀賞に選定されました。

グランプリ 北海道幌加内高等学校(幌加内町)

2002年に全国唯一の必修科目「そば」の授業を新設。身につけたそば打ちで、全道各地のイベントでの実演や町内の小中学校・海外との交流をするほか、人口減少の課題に町民と取り組むなど地域に欠かせない存在。



優秀賞 株式会社エース・クリーン(北見市)

「木から牛のエサを作るみらいプロジェクト」 「ウニから始まるSDGs」

優秀賞 北海道積丹町におけるブルーカーボン創出プロジェクト協議会(積丹町)

全国の優良事例は、  
第11回ディスカバー農山漁村の宝   または、こちらのQRコードから ▶▶

お問い合わせ 農政部農村設計課 TEL.011-206-6490



農業系公務員のお仕事をしませんか!

北海道の農業・農村を支える農業系公務員を紹介します。北海道では「農業」、「農業土木」、「普及(農業)」、「獣医師」の4つの職種に分かれています。「農業」は農畜産物の生産拡大に向けた施策推進やイベント企画、「農業土木」は生産性の向上に向けた農地や農業用施設の整備、「普及(農業)」は現場の農業者の相談役や技術の普及、「獣医師」は安全・安心な畜産物生産に向け家畜の伝染病対策や衛生指導をしています。興味がある方は就職先の一つとして検討してみてください。詳細は北海道農政部のホームページをぜひご覧ください!

HPはこちら ▶▶



お問い合わせ 農政部農政課 TEL.011-204-5373

2025ホッカイドウ競馬は4月に開幕!

ホッカイドウ競馬は、4月から11月までの火・水・木曜日を基本に日高・門別競馬場でグランシャリオナイターを開催します!また、門別競馬場と場外馬券場Aiba(アイバ)では、ホッカイドウ

競馬をはじめ、他地方競馬やJRAの勝馬投票券を発売していますので、ぜひご利用ください! [詳しくはこちら▶▶](#)

お問い合わせ 農政部競馬事業室 TEL.011-204-5377  
(一社)北海道軽種馬振興公社 TEL.01456-2-2501



アンケート抽選プレゼント

アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で3名様に『米粉商品詰め合わせ』をプレゼントします。右のQRコードのWEBアンケートか綴じ込みがきにより、必要事項を記入し、お送りください。(2025年3月31日受付分までが対象。当選発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。)



編集後記

今号の特集では、炊くだけじゃない!と題して米農家の米粉を使ったクレープ店の取組などを紹介しています。キラリ★農業系高等学校では、北海道知安農業高等学校の生徒の酒米作りや日本酒造りの活動などを紹介しています。また、2027年に北海道で初めて開催される「第13回全国和牛能力共進会」の紹介などを掲載。今号も北海道農業・農村の魅力が盛りだくさんの内容となっております。どうぞお楽しみください。

お知らせ

これまでconfaの送付を希望された方に郵送してきましたが、昨今のデジタル化の進展や環境配慮などの観点から、本号をもちまして個人の方への送付を控えさせていただきます。confaは今後も、北海道内各市町村の窓口や図書館、観光案内、道の駅、北海道さんこプラザ(国内)などに設置するほか、北海道のホームページやSNSでもご覧いただけますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

美味すぎて、とまらない!

塩昆布の無限おにぎり

ヒナファーム  
[長沼町]



レシピはレシピカードを  
チェックしてください。

農家が「ここぞー」という  
時に食べる、推しメシを紹介。  
今回は、長沼町の米農家  
ヒナファームさんの  
推しメシです。

農家の  
推しメシ



撮影:中村未来歩

道内有数の米どころ・長沼町で、無農薬・減農薬のお米を生産している「ヒナファーム」。代表の山崎雄介さんは、元々神奈川県自動車メーカーで研究開発の仕事に従事していた。

「持病のアトピーが悪化したことや、東日本大震災を経験したことから、主食である『お米』を強く意識するようになった」

試しに米づくりの研修会に参加してみたところ、普段は汗をかくとかゆくなる体が、田んぼで流した汗では何ともなかった。「自分の身体を取り戻した感じがした」という雄介さんは、米農家への転身を決意。家族を説得し、出身地の札幌市に近い長沼町で、新たな暮らしを始めることになった。

就農して5年。おにぎりは2日に一度は食卓に上がる山崎家の「推しメシ」だ。妻の景子さんは、「このおにぎりは、初めてつくった時に娘が『無限に食べられる〜』と言ったから、『無限おにぎり』と呼んでいます」と笑顔で話す。繁忙期ともなると娘さんたちも握ってくれるそう。

「農家になって、多くの方々とのご縁を感じます。もっと多くの方においしいお米を食べてもらえるよう、米農家としてできる活動をしていきたいですね」と雄介さんはおにぎりを頬張り精魂を込めるヒナファームの6年目の米づくりが始まるうとしている。

◀レシピはこちら

